

有.放.電 2,585世帯で、スタート

徳地町・徳地町農協

有線放送電話加入申込状況調

昭和41.9.20

Table with columns: 支所別, 総世帯数, 加入世帯数, 加入率, 摘要. Rows include 出雲, 島地, 串, 八坂, 柚野, and 計.

柚野地区

Table with columns: 部落名, 世帯数, 加入世帯数, 加入率, 部落名, 世帯数, 加入世帯数, 加入率. Rows include 川上, 猿上, 中野, etc.

出雲地区

Table with columns: 部落名, 世帯数, 加入世帯数, 加入率, 部落名, 世帯数, 加入世帯数, 加入率. Rows include 茂知, 中河, 中屋, etc.

有線放送電話施設の、加入申込みにつきましては格段の御配慮をいただき、その申込み者がままとりましたからお知らせいたします。

島地地区

Table with columns: 部落名, 世帯数, 加入世帯数, 加入率, 部落名, 世帯数, 加入世帯数, 加入率. Rows include 上村, 西畑, 蔵場, etc.

八坂地区

Table with columns: 部落名, 世帯数, 加入世帯数, 加入率, 部落名, 世帯数, 加入世帯数, 加入率. Rows include 下八坂, 中上, 三谷, etc.

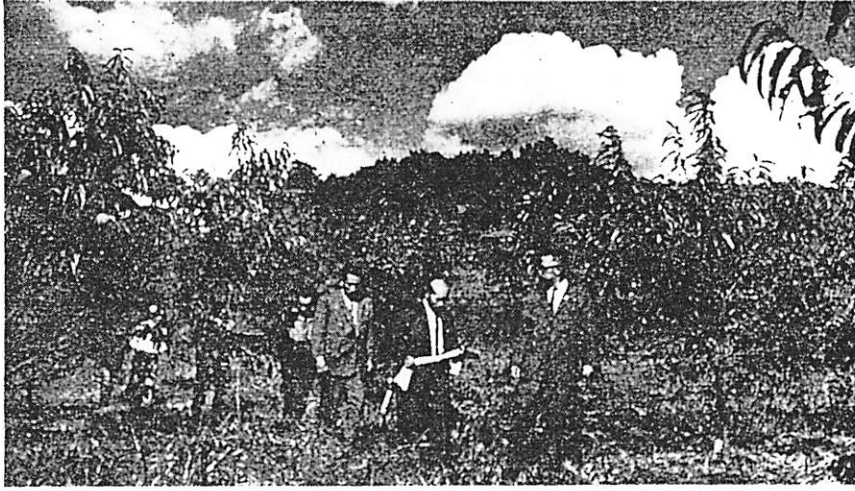
注 () 数字は加入者のうち団体を示す



昭和41年11月5日

発行所 徳地町役場 発行者 徳地町 編集者 桑原輝夫 印刷所 今澄印刷所

臨時増刊



写真は、久幸農林部長一行の栗園視察

栗園を視察 久幸部長

山は 幾年前に、火をふいた 年輪は、重なりつて この、世代に 農業構造改善事業進む 牛、集り、栗園に人むらがり 自動車は、台地を縦横に走って 大きく伸びる、この事業に 時代を切開く意欲あり 去る10月18日 県より 久幸農林部長、来園 栗は 意欲をかりたてられた

「短期決戦で 農家収入をふやすこと この園は、子供(初期)である ので、青年期(収穫期) に対する 診断が必要」 特に 「日光、栽培、土壌、林道等 専門技術者を派遣... 診断に 技術提供を借しまない」 ことなど 将来の増産に 又近代化の 方向に

栗の 意欲をかりたてられた (問) クリ栽培の将来性について (答) 昔から栗一升、米一升といわれ栗栽培の優位性は認められて います。したがって価格の面でも高値を呼んでいます。 園においては、将来における農家の所得をふやす基幹作物と して将来性を高く評価し、この見直しを昭和34年を基準とし年 平均生産量は、6%の伸びを示し昭和46年には約二、一倍程度 と推定している。 しかしながら、栗栽培においても他の作物と同様その将来性 を論ずる場合には、単に需要量と供給量のバランスだけでなく 栗栽培の推進には、先づ高度な技術を習得するとともに、生産 者を一体とした組織づくりによる品質の向上、生産費の低減と 共済体制の確立等流通機構の整備をはからなければならないも のと考えられます。(山口県林業経営協会)

栗で銀を寄せる

徳地の特産物に「栗」がある 幅が五センチもあるという大形の栗 一この栗は、能勢から丹波(京都府中部)の 特産でもあるが、 能勢でもあったものも、丹波を通じて 京へ運ばれているうちに 一つの間に、丹波栗と 呼ばれるようになった

計画栽培で増産

今から、目標きめよう

本年産米は、めくまれた天候と栽培技術の向上により、徳地町史上、最大の作年と思いますが、他地方に比べると決して満足すべき収穫ではありません。そこで、本年の栽培技術を基礎に、町では米づくりの近代化技術と、多収産の栽培方式を取り入れ集約栽培を推進すると、各部落の組織づくりを強め、「昭和42年産米より平均反収10俵とりの」目標をかかげ推進することとしました。

栽培技術の指導実施

振興山科事業によって、また、皆様方の協力によって、来々年、七月には有線放送が出来る見とありますが、この有線放送を、能率的且つ効果的に活用し、町内稲作農業者全般に行きわたるよう栽培技術の指導に当たりたいと思っております。それがためには、品種の統一が第一条件で町に於いては、3ヶ年計画で(別表一)品種の統一を計り適地適産で栽培環境に合った品種を選択奨励し、種子更新との集団栽培と相俟って技術指導を強化したい計画です。

組織づくり

集団栽培は、部落内の話し合いからにはじまります。この話し合いと協力で組織づくりをし、品種統一で稲作に必要な栽培技術を部落内で分担制として各戸(別表二)での高い技術水準を築くと共に、高度な研修によって、米づくりの近代化を組織づくりから推進しましょう。

集団栽培

「反10俵」とのは

品種の更新

町では、四品種(うこん錦・ヤマホウシ・ヤマヒコ・金南風)を奨励品種として奨励普及することとしました。

三頁よりつづく

42年産米

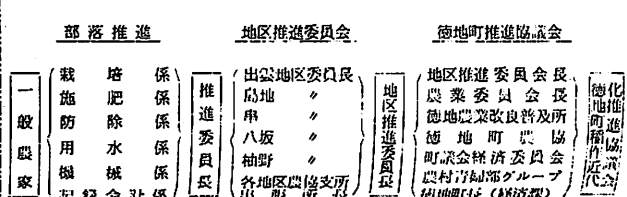
別表1 品種統一3年計画

年次	うこん錦	ヤマホウシ	ヤマヒコ	金南風	光	農林44	農林37	雑	その他	計
現在	83.40	1.20	163.40	73.80	234.00	166.30	62.80	115.20	73.00	423.50
42年	110.00	200.00	190.00	273.00	150.00	100.00	40.00	90.00	70.00	172.00
43年	120.00	230.00	200.00	391.00	130.00	90.00	20.00	80.00	70.00	63.00
44年	138.00	257.00	206.00	469.00	78.00	80.00	0.70	70.00	25.00	1,394.00

別表2 奨励普及品種の特性

品種	播種期	出穂期	成熟期	株長	穂長	稈の強さ	米の食味	耐病性	適地	概要
うこん錦	5.14	8.20	9.27	93	21	強	中	強	山間、山麓、平野部の早稲	不良環境でも多収
ヤマホウシ	5.14	8.21	9.29	88	21	中間	強	中	山麓、平野部の早稲	多収、食味良好、秋蒔にも適宜
ヤマヒコ	5.14	8.25	10.7	88	21	中間	中	中	山間、山麓、平野部の肥沃な乾田	多収、食味良好、秋蒔にも適宜
金南風	5.14	8.29	10.13	77	19	強	強	強	山麓平野部の肥沃な乾田	多収、食味良好、秋蒔にも適宜

別表3 徳地町米作近代化推進組織図(案)



「一回」林業コンクール 募集要領(山口県)

カマノ愛好家の皆様、一枚の写真をとおして、山口県の林業のさまざまな姿を知り、感じとることで、ますますたくれた作品を望んでいきます。すべからず、林業の広報活動に役立てたいので、次の要領によつて応募して下さい。

- 1 対象 木や森の姿、動物の生活、観光や森林公園、生活や風景、街路樹、私たちの生活とつながりを深めるもの。
- 2 林業の生産(販売) 種子を採つたり苗木を育てる、うえつけや手入れをする、きつたり運搬する機械や道路、製材や木材の生産出荷、板の製造や木材の利用加工、特産物の生産加工出荷、災害復旧、その他生産活動をあらわすもの。
- 3 応募資格 自作未発表のもの。
- 4 点数 制限しない。
- 5 作品の規定および記載事項 白黒、四つ切り、ハガキの大きさの用紙に次のことを書いて送る。
 - 題名と内容説明、住所、氏名、職業、撮影場所、年月日、撮影カメラ。
 - 賞状発着 山口県林業協会 山口県林業協会

昭和42年度 県立防府高等学校 学生募集

1 修業年限 3年。

2 募集人員 25名。

3 入学資格 高等学校卒業者。

4 願書受付期間 昭42.1.20から2.13まで。

5 試験科目 国語、数学I、理科

6 その他問合せについては15円切手向封筒直接学院して下さい。

昭和42年度 職業訓練生募集

1 応募資格 送附教育終了者であれば年齢を問わず誰でも入所の資格がある。ただし、次のについては、それぞれの資格を有するもの。

- 無修通科 高校生。
- 美容科 女子のみ。
- 洋装科

2 応募手続 入所願、履歴書、健康診断書

行政士試験要領

昭和41年度 行政士試験要領

日附 41年11月20日午前10時

場所 山口県庁 職員会館

受験資格 高等学校を卒業した者

○公務員として3年以上の者

○次に該当する者でそれに従事

戸籍抄本、成績証明書を公共職業安定所又は職業訓練所に提出

3 受付期間 昭42.1.4から1.20まで

4 第一次試験 42.2.3、国語、数学、社会英語(無修科のみ)について、公共職業安定所で行い、合格発表は42.2.2初旬、合格発表

5 第二次試験 一次試験合格者に通知し、面接試験、適正検査を3月中旬実施

6 入所 昭42.4上旬

綱名	科別	定員	期間
大島	自動車整備科	30名	1年
柳井	機械科	30名	1年
徳山	ラジオテレビ科	30名	1年
防府	建築科	30名	1年
宇部	自動車整備科	30名	1年
小野田	自動車整備科	30名	1年
豊北	無線通信科	30名	1年

徳地町社会教育 振興大会開催

明らいたつた、福祉社会は、

増設について

納税者の便宜をはかるため、山口県は、10月1日から新しく、山口相互銀行、県内本・支店並びに県内に本店を有する信用金を取り扱っている。郵便局、県税事務所と同日方法で納入することが出来ますのでご利用下さい。

四頁につづく

健全な人々の専任と共同の精神によつて進められるもの。

そのうえで、社会人をつくるのが、すべての教育であり、町の教育行政の望むところであり、教育は、一般学校教育と、社会教育の両立することによつて目的が果されるものであるが、殊に、現在のように、めまぐるしく変わる社会の中にあつては、社会教育の果たす役割は、ますます重大を加へてきました。

この時にあたり、町内社会教育団体の関係者が、集りまして社会教育のいろいろの問題について、つきつめて話し合い、更に、今後の社会教育振興の標を高めるため、左記要領によつて、振興大会を開催するの多数参加を呼びかけておりますから、ご参加を、お願ひ致します。

期日 昭和41年11月15日

会場 中央公民館

講演 青少年問題と両親の役割

元 山田教授

○事例発表 意見発表

○抽籤子供会・申たかね会・青年団・八坂若竹会・社会福祉団体のレクリエーション交歓会

○知人会、青年団の余興大会に併せて

徳地町美術展覧会が 次の要領で、開催されますので、併せて出品して下さい。

○会期 11月12日から15日まで

○場所 中央公民館

出品者、町内在住・在職の一般部門及び規格

書道 横書

絵画 (縦1.35米横0.35米縦書)

手芸 (芸術作品)

写真 (古木、研石を含む)

写真 (白黒・カラー四切り枠張り)

生花 (自由)

○作品搬入 11月10日 17時迄各支所にて受付、その他詳細については御問合せ下さい。

II 教育委員会

衛生 相談日、ひらく

1 日時 11月7日から12日まで

2 場所 防府中央病院

3 受診上の注意(無料)

○病院正面玄関の受付で「無料相談を受けたい」と申込むこと

○治療の必要がある場合があるのて、保険証を持参すること

畜犬飼育

犬を飼う場合は、必ず登録、狂犬病予防注射を受けて、首輪をつけ、つないで他人の迷惑にならないようにして飼つて下さい。

インフルエンザ

予防注射について

一回目 11月15日から18日まで

二回目 11月21日から25日まで

右の、日程によつて一斉に予防注射を行いますから必ず受けて、元気に冬を迎えましょう。